

工事不要の換気装置開発

自動車・機械

新型コロナウイルス感染症拡大に発着した。教室など広い空間に発生する換気ニーズの高まりを受け、施設向け空調のエンジニアリングを手がける菱熱工業が製品開発を進めている。このほど素早く手軽に設置ができる、工事不要の換気装置を開発した。省人化や対人接触の削減が求められる中で、換気への関心が高まる学校や介護施設から引き合いが増えてきているという。時代のニーズに合わせた商品を素早く展開し、年間で1千台の販売をめざす。

設置は窓際まで装置を持って行き、空気の入出口部分を窓枠の高さに合わせるだけで完了する。大がかりな工事が不要で、設置完了までにかかるとは1時間未満だという。通常、換気装置の設置工事には時間もコストもかかる。従来の装置では工事完了するまでには数日間かかる。費用は100万円以上することも珍しくないという。

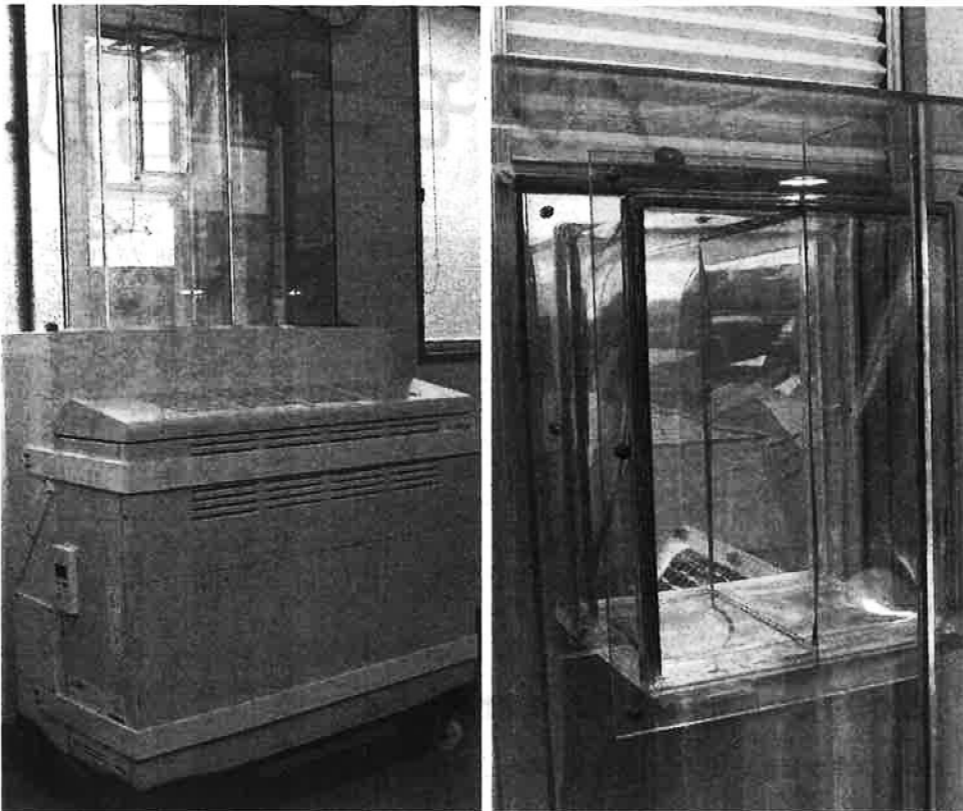
装置下面にはキャスターがついており、移動も容易だ。災害時の緊急避難では、体育館などの広い場所に移して使うなどの活用方法も考えられている。

菱熱工業はこれまで、主に飲食店やコンビニエンスストアのほか、映画館などレジャー施設向けに空調機器やシステムを納入してきた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛で飲食店からの設備投資意欲が減退。同社も受注していた工事が先延ばしになるなどの影響が出た。

飲食向けが下火となる一方で注目したのは学校向けの換気装置だった。同社によると、全国の小学校の7割以上には冷暖房装置が配備されているものの、換気装置を備えていない学校は少ないという。窓を開けたり、小さな換気扇を取り付けたりしているだけの学校が多い。

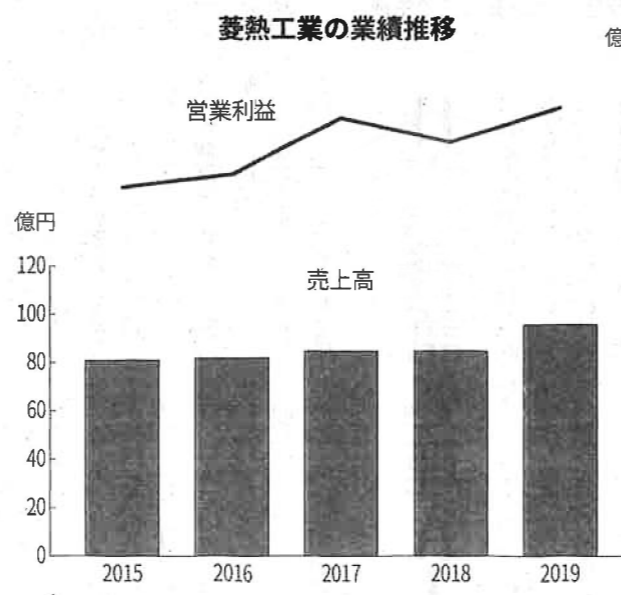
通常の窓の開放や換気扇では外気を直接取り入れるが、冷暖房が効きにくくなり、花粉や虫が入ってくるのを防ぐという問題がある。換気装置ではフィルターが入っているため、そうした問題が起きにくい。新型コロナウイルスの重要性が認識され、学校でも換気装置の導入が進むとみている。

（加藤敦志）



学校などへの導入を狙う「A1サイクル」の大型機。工事なしで簡単に設置でき、移動もしやすいのが特徴だ

空調の菱熱工業、学校や介護向け



菱熱工業はこれまででも組み立て式の分煙室など、ユニークな製品を提供してきた。近藤貴社長は「時代やニーズの変化に対応した製品やサービスをいち早く世に出していくことが当社の文化」と前向きな姿勢でウィズコロナを見据えている。

自動車販売会社の業界団体が発表した11月の車名別新車販売台数で、トヨタ自動車「ヤリス」(旧ウィッツ)が首位となった。3カ月連続でトップと好調で、他車種でも新型効果のある車は好調を維持した。ただ新型コロナウイルスの感染拡大が続いているほか、昨年が増税影響や災害被害で販売が落ち込んでいた反動による増加もある。先行きに不透明さが漂う状況が続きそうだ。

車名別新車販売

＜乗用車系車名別＞

車名	企業名	2020年11月	前年同月比
1 ヤリス	トヨタ	19,921	(-)
2 ライズ	トヨタ	10,627	(42)
3 アルファード	トヨタ	10,109	(75.9)
4 ハリアー	トヨタ	9,897	(461.7)
5 カローラ	トヨタ	9,653	(▲9.8)
6 ルーミー	トヨタ	9,112	(27.8)
7 シエンタ	トヨタ	7,187	(▲30.4)
8 フィット	ホンダ	7,161	(129)
9 フリード	ホンダ	6,864	(6.5)
10 ヴォクシー	トヨタ	6,860	(23.2)

＜軽乗用車系車名別＞

車名	企業名	2020年11月	前年同月比
1 N-BOX	ホンダ	15,685	(▲16.6)
2 スパシア	スズキ	12,027	(▲6.2)
3 タント	ダイハツ	10,599	(▲49.8)
4 ムーヴ	ダイハツ	9,980	(47.3)
5 ルークス	日産	9,019	(-)
6 ハスラー	スズキ	6,579	(33.6)
7 タフト	ダイハツ	6,503	(-)
8 ミラ	ダイハツ	6,068	(11.2)
9 アルト	スズキ	5,654	(▲1)
10 デイズ	日産	5,427	(▲55.3)

(注)単位台、カッコ内は前年同月比増減率%、▲は減、-は比較できず

首位のトヨタ「ヤリス」は2月に発売した。11月のc.c.超)と軽自動車を含む販売台数は1万9921台。最も多く、3カ月連続の「ヤリスクロス」も発売。約1万1900台。コロナ禍の中でも販売は好

車名別「ヤリス」3カ月首位

11月、SUV人気も追い風

トヨタ自動車の「ヤリス」

2位はホンダの軽自動車「N-BOX」で前年同月比減の1万2027台。3位はスズキの軽自動車「スペシア」で、6.2%増の1万5688台。10月は前年を上回った。登録車と軽を合わせた上位10車種のうち前年を割り、10月に販売

の2車年比較。割れがから多、下回りが。種が一方、果の。新の。タ「ハ7%増に伸、(相手)

スズキ、タイの二輪販売事業を再編

【浜松】スズキはタイの二輪販売事業を再編すると発表した。子会社タイスズキモーター(タンヤブリ市)の販売事業を新設の販売代理店に12月に移管する。タイスズキは生産や完成車の輸出に専念する。南部地域の販売代理店BANスズキ(ソクラー県)と共同出資で「スズキモトセールスタイランド」(同県)を設立。出資比率はBANスズキが70%、タイスズキが30%。新会社に北部地域の販売事業を移す。1968年にタイで二輪生産を始めた当初から、南部の代理店はBANスズキが担当している。同社が培って

ゲーム機部品を大幅増産

【仙台】金属部品製造製作所(宮城県石巻市)は21年からゲームのコンポーネント部品の本格量産に入る。年々増加する海外のゲーム機の部品を受注し、21年から月産70万個超に引き上げ、車載向け部品などが低調化する中、ゲーム産業など需要を取り込む考えだ。19年に受注した海外メーのゲーム機部品の19年から月産20万個程度を石巻の工場生産している。月産40万個だが、それを70万個超まで拡大する。ローラーに用いられる長さや度の部品で、ネジと軸受は体になっている。コント